

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金			整理番号	599		枝番号				
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	587	
係名				交通対策係				上位施策名		No		
予算事業名				交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進		6	
事務事業の概要	事業開始年度			● 昭和 ○ 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第8項						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			・地域における交通安全運動の核となる各交通安全協会に対して、補助金を交付する。(交通安全協議会についても同じ) ・区、警察、交通安全協会共催で、広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図るため、杉並区交通安全のつどいを年1回開催する。		(2) 平成17年度交通安全協会、交通安全協議会補助金交付要綱						
	活動指標名(式)			(1) 交通安全協会が交通安全啓発活動を実施した延べ日数 (2) 杉並区交通安全のつどい参加者数		(3) 平成17年度交通安全のつどい実施要領						
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)			・各種団体の事業に要する経費の一部又は全部を補助することで、交通事故防止を目的とした活動を積極的に実施する。 ・広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通安全の気運を盛り上げるための交通安全のつどいを開催する。									
成果指標名(式)			(代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 区内の交通事故件数							
					(2) 交通安全協会加入者数・団体数							
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%
					計画		実績		計画		22年度	
指標	活動指標(1)		日	279	303	303	369	300				
	活動指標(2)		人	580	900	580	550	600				
	成果指標(1)		件	3,215	3,206		3,151					
	成果指標(2)		件	2,330	2,260		2,098					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,312	5,301	5,324	5,405	4,714		特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 補助金適正化審査会の提言を受け、18年度の事業費は、交通安全協会に対する補助金を一所132万円から125万円に減額している。		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.33	0.33	0.27	0.18	0.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,968	3,003	2,446	1,631	2,718				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	8,280	8,304	7,770	7,036	7,432				
	単位あたりコスト(-)÷		円	29,677	27,406	25,644	19,068	24,773				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	8,280	8,304	7,770	7,036	7,432					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		交通安全協会及び交通安全協議会に対する補助金・分担金							5,270			
		事務経費							135			
		その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	121.8	活動指標(2)の17年度達成率%	94.8	17年度予算執行率%	101.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		地域における交通安全運動の核となる杉並・高井戸・荻窪交通安全協会と杉並区交通安全協議会に補助金を交付した。また、広く区民に交通安全思想の普及・浸透を図るため、9月に社会教育センター(セシオン杉並)にて「杉並区交通安全のつどい」を開催した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区内の交通事故件数 平成2年…1,749件 平成17年…3,151件 交通安全協会加入者・団体数 平成7年度…3,195人 平成17年度…2,098人					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助金適正化審査会より、補助金の適正な使用及び使途の明確化するよとの提言を受けた。					
	今後の予測	今後、景気が回復せずに不況が続くと、更に交通安全協会加入者・団体数が減少し、会員からの会費収入が減少するため、区補助金に依存する気運が高まることが考えられる。 また、安全協会年間予算の減少によって、交通安全啓発事業規模の縮小につながるものが危惧される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由：交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区内全域で地域の特性にあった交通安全啓発活動を実施している交通安全協会の協力が必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容：補助金交付の条件として、16年度から交付対象の中に「杉並区が特に要請する交通安全事業」を加えており、区が意図した交通安全啓発活動が行われるようになった。また、補助金適正化審査会の提言に基づき、区内3交通安全協会に対し、より一層の補助金の適正な使用について指導するとともに、補助対象経費を具体的に明示した補助金交付要綱へ改正を行った。杉並区交通安全のつどいについては、地域の人々が広く参加できるように内容等を見直していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容：交通安全のつどいについては、区・各警察署・各交通安全協会の共催で開催しており、経費の分担制を見直すことは可能と考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容：交通安全のつどいについては、開催内容の見直しを行うことにより、コストを下げることは可能ではある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題：交通安全協会は主に会員収入により運営されている。区は事業費の一部を補助しているに過ぎず、交通安全に関する専門知識を有する団体として、区及び警察の交通安全啓発業務を補完するうえで、重要な役割を果たしている。ただし、補助金の適正使用と使途の明確化に努めるよう、区は監督・指導を行っていく必要がある。また、交通安全のつどいについては、区・各警察署・各交通安全協会の共催で開催しているが、経費の分担制について再度検討を行う。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域における交通安全運動の核となる各交通安全協会に対する補助金については、現状を維持していく。ただし、補助金適正化審査会の提言に基づき、区内3交通安全協会に対し、より一層の補助金の適正な使用について、引き続き指導を行っていく。 杉並区交通安全のつどいについては、地域の人々が広く参加できるよう必要に応じて内容等を検討する。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 交通安全のつどいの内容等については、企画段階からの見直しを要するため、警察・交通安全協会と協議・調整を行う必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
(2) 理由 各交通安全協会に対する補助金が、地域における交通安全啓発活動に有意義に活用されるよう、適正使用及び使途の明確化について監督・指導を行っていく。 杉並区交通安全のつどいについては、区における交通安全啓発事業のうち最大のイベントであるため、より多くの区民が参加できるよう、関係団体と協議を行う。また、開催経費の費用分担についての見直しに向けた協議を行う。							

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発活動委託				整理番号	600		枝番号		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304	連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	588	
係名 交通対策係					上位施策名				No		
予算事業名 交通安全運動推進					コード	61700		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並・高井戸・荻窪地域交通安全活動推進委員協議会				(1) 地方自治法第2条第8項 (2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者や自転車利用者に対する交通安全啓発活動等を、交通安全の専門性の高い、地域の人々の集まりである地域交通安全活動推進委員協議会に委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ・高齢者の交通安全意識を向上させ、高齢者の交通事故を防止する。 ・自転車利用者に対して、安全運転の意識とマナー向上の醸成を図り、自転車が関係した交通事故を防止する。						
	活動指標名(式) (1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数 (2) 交通安全啓発活動に参加した延べ人数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区内における高齢者の交通事故件数 (2) 区内における自転車が関係した交通事故件数						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		時間	543	543	543	515	543			
	活動指標(2)		人	418	471	471	484	471			
	成果指標(1)		件	498	468		548				
	成果指標(2)		件	1,029	1,065		1,104				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	494	494	495	468	495	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	494	494	495	468	495			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.33	0.33	0.27	0.18	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,968	3,003	2,446	1,631			2,718
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	3,462	3,497	2,941	2,099	3,213			
	単位あたりコスト(-)÷		円	6,376	6,440	5,416	4,076	5,917			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	3,462	3,497	2,941	2,099	3,213				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		広報活動費							468		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	94.8	活動指標(2)の17年度達成率%	102.8	17年度予算執行率%	94.5
地域交通安全活動推進委員協議会に対して、自転車の安全利用に関する啓発活動、高齢者に対する交通安全啓発活動、その他の交通安全啓発活動を委託し、同協議会は契約どおり実施した。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
平成16年度の委託契約から「自転車の安全利用に関する啓発」を加えることにより、現在の交通事故実態に即し、より効果的な活動内容となった。今後も、さらに効果が上がるよう委託契約の内容を検証していく。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・区内の高齢者人口 平成8年…74,172人 平成17年…94,364人 ・区内における高齢者の交通事故件数 平成8年…214件 平成17年…548件 ・区内における自転車が関係した交通事故件数 平成8年…481件 平成17年…1104件				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	全体の交通事故件数に比べ、自転車が関係した交通事故が増えており、自転車の安全走行啓発についての要望・苦情が多い。				
	今後の予測	高齢者人口が増加(平成22年予測102,432人)し、高齢者の交通事故が増加すると考えられる。また、自転車が関係した事故の増加など、近年の交通事故は、個人の交通安全意識の低下やモラルの欠如が起因しており、今後も交通安全全般に対する意識の啓発を、より強化していく必要があると思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由：交通安全啓発活動は、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために欠かせない活動であり、今後も継続していく必要がある。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 理由または具体的内容：委託内容を見直し、交通実態に即した内容とすることで、効果を向上させる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：事業の性質上、受益者負担はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：実際に活動した時間に対してのみ対価を払っているため、コストを下げることはできない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題：交通安全に対する専門性も高く、各警察署との協力関係が強い交通安全活動推進委員協議会(3所)に、交通安全啓発活動を委託することで、交通事故防止に一定の成果をあげている。今後も、協議会と協働して事業を推進していく。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域の交通実態に即し、定期的に委託契約の内容を検証し、効果のある活動内容にしていく。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 活動内容については、地域交通安全活動推進委員協議会の会員数の減少や高齢化により、活動の充実には限界があるが、地域の交通実態に即した内容にするため、定期的に受託者である各協議会と協議・調整をしていく必要がある。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現行どおり、積極的に交通安全啓発活動を実施していく。また、特に高齢者と自転車の交通安全を重点とした取り組みを行う。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全啓発用品の購入と配布			整理番号	601		枝番号				
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	61700		連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	589	
係名 交通対策係				上位施策名				No				
予算事業名 交通安全運動推進				コード	61700		交通安全の推進				6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 地方自治法第2条第8項								
	区民及び道路利用者の生命・財産			(2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項								
				(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
交通安全啓発活動を行う際、交通安全啓発用品を区民に配布し、交通安全意識の向上並びに、配布した反射材等の啓発用品を使用することにより交通事故防止につなげる。地域の人々に広く交通安全意識を広めるため、横断歩道用横断幕や表示幕を作製し、区内の道路に掲示する。				区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故を減少させる。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 交通安全啓発用品配布数				(1) 交通安全啓発用品配布数 / 杉並区民人口								
(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数				(2) 横断歩道用横断幕、標示幕作製数 / 区内の道路延長(km)								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標		活動指標(1)	個	35,090	45,150	25,500	45,690	45,000				
		活動指標(2)	流	82	76	84	18	30				
		成果指標(1)	%	7	9	5	9	9				
		成果指標(2)	数 / 100 km	11	10	11	2	4				
総事業費・コスト把握		事業費	千円	5,425	9,742	5,528	5,143	9,172	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 16年度の事業費はチビッコあんぜんヘルメット(単年度事業)の購入費を含む			
		(内)投資的経費等	千円									
		(内)委託費	千円									
		職員数(常勤 非常勤)		人	2.06	2.06	1.71	1.18	1.30	18年度から自転車安全利用証の交付制度を開始した		
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	18,528	18,746	15,493	10,691	11,778			
			非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
		総事業費 + +		千円	23,953	28,488	21,021	15,834	20,950			
		単位あたりコスト(-) ÷		円	683	631	824	347	466			
		財源		受益者負担分	千円							
				国・都等からの支出金	千円							
特定財源計 +	千円			0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円			23,953	28,488	21,021	15,834	20,950				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)				
		交通安全啓発用品等						4,904				
		交通安全教室						239				
		その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	179.2	活動指標(2)の17年度達成率%	21.4	17年度予算執行率%	93.0
<p>横断歩道用横断幕や標示幕による視覚的な啓発とともに、交通安全啓発用品を購入し、区民及び道路利用者に配布することで、交通安全意識の向上を図った。また、区内2歳児を対象としたチビッコあんぜんヘルメットの無償配布(モニター制度)と平行して、幼児用自転車ヘルメットを廉価で提供するあっせん販売(財政負担なし)を行った。(平成17年度は10月と3月の2回)</p>						
<p>前年度の改革案の取り組み状況(18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)</p> <p>横断歩道用横断幕や標示幕による視覚的な啓発だけでなく、交通安全啓発活動を行う際、啓発用品を区民及び道路利用者に配布することで、交通安全意識の向上を図った。また、区内2歳児を対象としたチビッコあんぜんヘルメットの無償配布(モニター制度)と平行して、幼児用自転車ヘルメットを廉価で提供するあっせん販売を行った。本あっせん販売は、今後も実施・継続していく予定である。なお、平成18年度から自転車安全利用証の交付制度を開始し、児童及び保護者への自転車の安全運転の意識とルールの自覚及びマナー向上の醸成を図っていく。</p>						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の交通事故件数 平成8年…2,068件 平成17年…3,154件 ・杉並区民の人口 平成8年…501,316人 平成17年…516,705人 ・区内の道路延長(km) 平成8年…746km 平成17年…752km 				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>最近には特に、交通ルールを守らない悪質な自転車利用者に対し、正しい交通ルール・マナーを周知徹底させて欲しいとの要望が多い。平成18年度から実施する自転車安全利用証の交付制度は、交付する児童だけでなく、家族ぐるみでの自転車の安全運転の意識を啓発する方策として期待できる。</p>				
	今後の予測	<p>交通事故の総件数は減少傾向にある中、高齢化の進展とともに、高齢者の交通事故は増加することが予想される。また、交通ルールを無視した悪質な自転車利用者による自転車に関係した交通事故も増加すると考えられる。</p>				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい		理由: 交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくためには、区民及び道路利用者の交通安全意識の向上が不可欠である。啓発活動を行う際、啓発文書に併せて啓発用品を配布することにより、啓発活動が受け入れられ易く、円滑に行うことができる。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができる		理由または具体的内容:			
	成果向上のための方策		理由または具体的内容: より効果的で実用的な啓発用品を選定するよう努める。また、自転車安全利用証の交付制度の実施により、交付する児童だけでなく、家族ぐるみでの自転車の安全運転の意識を啓発していく。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は		理由または具体的内容: 事業の性質上、受益者負担はない。			
(4) コストを下げる余地はある		理由または具体的内容: 啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位あたりのコストが高くなる。また、自転車安全利用証は、各児童が交付されたという自覚を持てるよう、自動車免許証に近いイメージの素材・デザインでの作製が必要となる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現している		協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手		協働等による成果と課題: 平成17年度から実施している幼児用自転車ヘルメットのあっせん販売については、販売店が流通経費・マージン等を負担することで、廉価による販売が実現し、販売実績をみても十分な成果をあげている。今後も同様の方策であっせん販売を実施・継続していく。また、自転車安全利用証の交付制度については、講習の指導等を各警察署だけでなく、PTAにも依頼し、家族ぐるみでの自転車の安全運転に対する意識の啓発を図っている。			
	(3) 協働等の形態		協働[事業協力](具体的内容)			
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	<p>(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入</p> <p>交通安全啓発活動で配布する啓発用品は、より効果の見込める実用性の高い啓発用品を選定する。歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及してゆく。幼児用自転車ヘルメットのあっせん販売については、ヘルメット普及啓発を図るため、今後も実施・継続していく。自転車安全利用証の交付制度については、効果も検証しながら、より多くの児童に交付されるよう実施・継続していく。</p>					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	<p>(2) 理由</p> <p>幼児用自転車ヘルメットのあっせん販売及び自転車安全利用証交付制度については、引き続き実施していく。交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施していく。また、歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及してゆく。</p>					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全モデル地区整備計画			整理番号	602		枝番号		
担当部課名		都市整備部交通対策課		コード	221304		連絡先電話番号	3553		
係名		交通対策係		上位施策名				No		
予算事業名		交通安全運動推進		コード	61700		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 17年度			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(1) 地方自治法第2条第8項						
	区民及び各モデル地区の道路利用者			(2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内に自転車交通安全利用モデル地区を定め、自転車の安全利用に係る表示などの環境整備を行い、住民が主体となり重点的に自転車安全利用啓発活動を行う。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 各モデル地区において、自転車の危険走行に対する声掛けや安全利用のキャンペーンを実施するなど、重点的に啓発活動を行い、自転車利用者の安全運転の意識及びマナー向上の醸成を図る。						
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 自転車交通安全利用モデル地区の箇所数			(1) 区内における自転車関係した交通事故件数							
(2) 自転車安全利用キャンペーンの実施回数			(2) モデル地区における夜間無灯火走行自転車割合(代)							
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
	活動指標(1)	箇所			6	6	6			
	活動指標(2)	回			19	18	18			
	成果指標(1)	件				1,104				
成果指標(2)	%				51					
総事業費・コスト把握	事業費		千円			6,000	1,780	1,200	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度の事業費は、各モデル地区の環境整備等の初期投資を含む	
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円							
	職員数(常勤 非常勤)		人			1.30	1.18	1.30		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	11,778	10,691	11,778		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	17,778	12,471	12,978		
	単位あたりコスト(-)÷		円			2,963,000	2,078,500	2,163,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	17,778	12,471	12,978			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)	
			自転車安全利用啓発・促進						1,780	
			その他 ()						0	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	94.7	17年度予算執行率%	29.7
		重点的に自転車安全利用を啓発する地区として、区内6箇所に自転車交通安全利用モデル地区(実計事業)を定め、モデル地区である旨を明示する看板等の環境整備を行った。(看板等478枚を設置)					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		各モデル地区での活動開始にあたり、モデル地区である旨を明示する看板等の環境整備を行った。18年度以降は、啓発活動に使用するのぼり旗・ちらし等の消耗品代を予算計上していく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	悪質な自転車利用者に対して、警察が、刑事処分の対象となる交通違反の摘発をするなど、社会的にも自転車の安全利用(危険走行)に対する関心が高まってきている。また、全体の交通事故件数に比べ、自転車が関係した交通事故の割合が増えている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夜間無灯火での自転車走行や二人乗りなど、交通ルールを守らない悪質な自転車利用者に対し、正しい交通ルール・マナーを周知・徹底させて欲しいとの要望が多い。					
	今後の予測	自転車利用者の安全運転の意識やマナーが向上しなければ、自転車が関係する交通事故は増加していくと考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 住民あるいは商店街など、地域に根ざした団体が主体となり行う交通安全啓発活動である点で、大いに意義がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 声かけ等により自転車安全利用についての啓発活動を行う事業であり、短期的には効果は現れにくい。しかし、事業を継続することが重要と考える。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 地域住民あるいは商店街などが主体となり行う事業であり、受益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 自転車の安全利用を啓発するためには、重点地区である旨の表示など視覚的な啓発も重要であり、定期的に各モデル地区の環境整備を行っていく必要がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 各モデル地区の住民あるいは商店街関係者などの地域住民団体が主体となって交通安全啓発活動を行っており、継続的な活動として一定の成果をあげている。啓発活動の内容については、定期的に効果測定を行い、より効果的な方法を模索していく必要がある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 実施計画に基づき、既存モデル地区の事業継続と内容充実を図っていく。また、啓発活動の内容について、定期的に効果測定を行い、より効果的な方法を模索していく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 各モデル地区の交通安全啓発活動は、自転車利用者のモラルに訴えかける地道な活動であり、短期的に成果が現れるものではない。しかし、長期間継続してゆくことにより、自転車の安全利用についてのマナーが少しずつ浸透していくものと考えられる。また、啓発活動の内容についても、定期的に効果測定を行い、より効果的な方法を模索していく必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 実施計画に基づき、既存モデル地区の事業継続と内容充実を図っていく。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全施設維持補修				整理番号	613		枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	601
係名 交通安全施設係					上位施策名					No	
予算事業名 交通安全施設維持補修					コード	61900		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8項						
	区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第42条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鈺の清掃を行う。また配電型交差点鈺の電気料金を支払う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持することにより、道路利用者の安全を確保する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 修理件数(道路反射鏡・防護柵・標識)				(1) 稼働率 = (管理数 * 365 - 修理件数 * 修理日数) / (管理数 * 365) * 100							
(2)				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	件	564	529	550	512	500				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	49,196	46,010	46,678	46,429	38,194	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度修理対象管理数 ・反射鏡6,242面 ・防護柵12,138基 (3m/基換算) ・標識1,477枚 ()内は箇所あたり修理日数 ・反射鏡362件(3.5日) ・防護柵102件(18日) ・標識48件(9.9日) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円	47,524	44,280	44,928	44,792	36,364				
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.62	2.43	2.36	2.40	1.48				
	人件費	千円	23,564	22,113	21,382	21,744	13,409				
	常勤職員分(超勤分含む)	千円									
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	72,760	68,123	68,060	68,173	51,603				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	129,007	128,777	123,745	133,150	103,206				
	財源	千円									
受益者負担分	千円										
国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -	千円	72,760	68,123	68,060	68,173	51,603					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	交通安全施設補修(道路反射鏡、防護柵、標識の修理など)(委託等)							38,060			
	交通安全施設清掃委託(道路反射鏡、防護柵、発光式道路鈺の清掃)(委託等)							6,732			
	交通安全施設維持管理(電気料金、材料費など)							1,637			
	その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17 年度達成率%	93.1	活動指標(2)の17年 度達成率%	17年度予算 執行率%	99.5
		・配電式道路鏡は実施計画により自発光式道路鏡に改修している。毎年利用に係る電気料金は減じている。17年度は電気料金が安価の為節減された。反射鏡や警戒標識など施設機能の妨げになる沿道樹木の枝の剪定や交通事故などによる施設破損の応急的な保全作業を職員自らが行ない委託経費の削減に努めた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・交通事故などにより破損したガラス製鏡面は、ステンレス製に交換し寿命を延ばしている。また道路警戒標識は、事故や古いものから標識板を広角プリズム板に取替え、夜間でもライトに反応し道路利用者へ分かりやすくしている。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 S57 40,489m H14 36,846m H17 36,414m ・道路反射鏡 3,386本 4,735本 4,857本 ・道路標識 1,632本 1,473本 1,455本				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	・交通安全施設の破損補修に対する要望が多く、特に緊急の補修要望も多くなっている。				
	今後の予測	・交通安全施設の整備設置が進んでおり、今後は大幅な交通安全施設の増加はない。維持補修工事による補修件数についても現状維持若しくは微増で推移するものと予測する。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路交通の安全を確保するためには、交通安全施設を適正に管理しその機能を保持する事は重要である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 職員が交通事故などによる施設破損の安全対策を第一に対応する事で危険回避などの経費削減をしている。また、委託業者が現場到着するまでの安全を確保をしている。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事のため、これ以上の削減は出来ない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・道路反射鏡鏡面の事故などによる交換頻度を少なくするために、従来のガラス鏡面に比べ接触などに強く、耐久性の高いステンレス製に今後も改めていく。また、道路警戒標識板を広角プリズム板に取替え夜間などの視認性を向上させる。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・道路反射鏡鏡面ステンレス化と道路警戒標識板の広角プリズム板利用に伴い経費の増加が見込まれる。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由 ・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。 ・18年度予算から、交通安全施設清掃委託(防護柵・道路反射鏡)を道路等日常保全業務委託へ変更した。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		道路反射鏡新設・改良				整理番号	614		枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	602	
係名 交通安全施設係					上位施策名				No		
予算事業名 交通安全施設整備					コード	62100		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 43 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条及び第8条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 見通しの悪い交差点や屈曲部等に道路反射鏡を新設し、道路の視距を改善する。また、老朽化した施設の新設及び改良を行う。				(3) 道路法施行令第34条の3						
活動指標名(式) (1) 新設・改良数 (2) 管理数(鏡面数)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路利用者に対して十分な視距を確保して、道路交通の安全を保つ。							
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備対応率 = 管理面数 / 交差点面数 × 100 (2)											
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		本	86	96	100	101	100			
	活動指標(2)		面	6,149	6,242	6,272	6,315	6,345			
	成果指標(1)		%	35	35	35	36	36			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,185	14,890	17,460	15,678	17,460	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度実績内訳 新設54本 改良47本 交差点面数17,728面 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	12,185	14,890	17,460	15,678	17,460			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.65	0.78	0.88	0.81	0.68			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	5,846	7,098	7,973	7,339			6,161
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	18,031	21,988	25,433	23,017	23,621			
	単位あたりコスト(-)÷		円	209,663	229,042	254,330	227,891	236,210			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	18,031	21,988	25,433	23,017	23,621				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		道路反射鏡新設・改良(委託等)					101	本	15,678		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	101.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.7	17年度予算執行率%	89.8
		・新設要望、改修必要箇所については、計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・道路反射鏡の新設、改修に際し、ガラス製鏡面から接触などに破損しにくい耐久性の高いステンレス製鏡面に改めている。事故損傷などによる鏡面交換頻度が少なくすることによって、補修経費の減少と廃棄物の削減を図っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H17=1073件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・道路利用者が反射鏡に頼りすぎて安全確認を怠るようになるとの意見がある。・自転車対歩行者についての設置要望ある。・反射鏡設置箇所前の地先住民は将来家屋改築時の施設移設費用の負担や景観の悪化などを理由に設置の理解が得られないことがある。					
	今後の予測	・施設の老朽化による必要に応じた改修が必要になる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 見通しの悪い交差点や屈曲部地点の視距不足を解消する手段として、交通事故防止効果は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 耐久性に優れた反射鏡材料を使用することで、事故損傷等による鏡面交換の頻度を少なくする。補修経費の減少と廃棄物による環境への負担を軽減する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・道路反射鏡の新設、改修に際し、ガラス製鏡面から接触などに破損しにくい耐久性の高いステンレス製鏡面に改る。引き続き、事故損傷などによる鏡面交換頻度が少なくすることによって、補修経費の減少と廃棄物の削減を図っていく。 ・新設、改修に際しては、要望箇所の状況をよく調査して、できるだけ単独柱を減らすため、電柱事業者の協力を得て、共架設置を行っていく。						
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・鏡面の耐久性向上に伴い初期経費は生じるが、鏡面交換の頻度が減少させることで長期的な経費の削減を図る。							
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自発光式交差点鎮新設・改良				整理番号	615		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	604	
係名					交通安全施設係					上位施策名		No
予算事業名					交通安全施設整備					コード		62100
					交通安全の推進							6
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	区が管理する道路の利用者				区が管理する道路の利用者		(2) 道路法第2条、第85号					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				夜間において交差点の所在を明示するため、点滅式の交差点鎮を新設する。また、老朽化した施設を改良する。		(3) 道路法施行令第34条の3					
活動指標名(式)				(1) 新設・改良箇所数		(2) 管理数値(設置交差点箇所数)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
								夜間の交差点の所在を明確にすることで、出会い頭の事故等を防止し、道路利用者の安全を確保する				
								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
								(1) 整備率 = 設置交差点箇所数 / 交差点箇所数 * 100				
								(2)				
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		箇所	17	30	16	21	16				
	活動指標(2)		箇所	410	422	432	435	445				
	成果指標(1)		%	5.8	6.0	6.1	6.1	6.3				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,472	6,174	2,865	3,021	2,996	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度実績 新設 13箇所 改良 8箇所 交差点箇所数 7,091箇所 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。			
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	5,472	6,174	2,865	3,021	2,996				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.29	0.32	0.15	0.16	0.12				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,608	2,912	1,359	1,450			1,087	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	8,080	9,086	4,224	4,471	4,083				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	475,294	302,867	264,000	212,905	255,188				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	8,080	9,086	4,224	4,471	4,083					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		自発光式交差点鎮新設・改良(委託等)					21	箇所	3,021			
		その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	131.3	活動指標(2)の17年度達成率%	100.7	17年度予算執行率%	105.4
		・計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・夜間に事故が起こった交差点や予測される交差点について、中央設置型や停止線用の自発光式道路標を設置を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H17=1073件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・夜間の交差点の交通事故防止や速度抑制の対策として区民や警察からの設置要望が多い。 ・設置位置によっては、車両のタイヤに当たり振動が起こるとの意見がある。					
	今後の予測	配電式標を自発光式標への改良と自発光式標の新設を行っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 夜間に交差点に対して、車両や歩行者に交差点の周知明示ができ、注意・啓発など交通事故対策に効果がある。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 道路工事が予定されている箇所では、工事の調整を事前に行い、協力して施工することにより、道路の復旧費用などの削減が見込まれる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 これからも夜間に事故が頻発する交差点や発生が予測される交差点については設置をしていく。また、交差点中央付近が明るく中心に設置できない場合は、状況に応じて停止線型の自発光式標を設置する。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地点名標識板新設・改良				整理番号	616		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	605	
係名					交通安全施設係			上位施策名		No		
予算事業名					交通安全施設整備事業		コード	62100		交通安全の推進		6
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		50年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8項					
	区が管理する道路の利用者				区が管理する道路の利用者		(2) 道路法第2条、第45条、第85条					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				信号柱が設置された場所に、地点名の入った標識の設置や老朽化した標識の改修を行う。		(3) 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令					
活動指標名(式)				(1) 新設・改良数 (2) 管理数値		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 道路利用者に地点名や施設名等必要な情報を表示し、道路交通の安全性及び円滑性を確保する。						
成果指標名(式)				(1) 整備率 = 設置交差点箇所数 / 区道路上信号機数 * 100 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備率 = 設置交差点箇所数 / 区道路上信号機数 * 100 (2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績	計画		22年度			
指標	活動指標(1)		枚	9	7	10	8	10				
	活動指標(2)		枚	439	442	446	442	446				
	成果指標(1)		%	63.5	63.6	63.6	63.6	64.6				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	787	943	860	712	1,269		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成17年度実績内訳 改修8枚 平成18年4月1日 設置交差点箇所数 133箇所 区道路上信号機数 209箇所 18年度は組織統合により、 事業に携わる職員数が 減となる。		
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	787	943	860	712	1,269				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	360	455	362	362	453				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	1,147	1,398	1,222	1,074	1,722				
	単位あたりコスト(-)÷		円	127,444	199,714	122,200	134,250	172,200				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	1,147	1,398	1,222	1,074	1,722					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		地点名標識板新設・改良(委託等)					8	枚	712			
		その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	80.0	活動指標(2)の17年度達成率%	99.1	17年度予算執行率%	82.8
		・ほぼ計画通り事業を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・老朽化した地点名標識板の文字標示を新しくし、アルミ材質に改修を行なった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・地点名標識板の取付必要箇所については、整備をほぼ終了している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・その地域の施設名を地点名板にしている場合、その施設と地点名の呼び方が都と区で違っているとの意見があった。 ・新しい信号機が設置されると警察から取付けの要望がある。					
	今後の予測	・今後は老朽化した地点名標識板の改修、信号機がLED製品になった箇所や新設された箇所を整備する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路利用者に必要な位置情報を与えることにより交通の円滑化に貢献している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 道路利用者へ地域の名称を周知する施設であり、取付け箇所が信号機上であることから、これ以上の成果は望めない。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用者に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・既設のFRP材質の地点名標識をアルミ材質へ順次改良していく。 ・新たに設置された信号機には、必要に応じて整備していく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 ・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		白線整備			整理番号	617		枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		
係名		交通安全施設係			上位施策名				No	
予算事業名		交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 36 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条・第45号・第85号					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路の舗装上にペイントを用いて通行帯明示のための白線を引く。また、磨耗した白線を更新する。				(3) 道路標識・区画線及び道路標示に関する命令					
活動指標名(式) (1) 白線施工延長 (2) 管理数値(白線設置延長)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 車両及び歩行者の通行区分を明確にして、道路利用者に対して案内及び警戒をうながすことにより、道路交通の円滑と安全を図る。						
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 白線設置率 = 白線設置延長 / 道路延長 * 100 (2)						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		m	63,064	61,459	65,000	66,201	65,000		
	活動指標(2)		m	517,780	517,780	517,780	517,780	517,780		
	成果指標(1)		%	76	76	76	76	76		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30,752	30,543	30,550	31,039	29,250	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年4月1日道路延長684,621m 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。	
	(内)投資的経費等		千円							
	(内)委託費		千円	30,752	30,543	30,550	31,039	29,250		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.64	1.61	1.53	1.59	1.12		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	14,750	14,651	13,862	14,405		10,147
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	45,502	45,194	44,412	45,444	39,397		
	単位あたりコスト(-) ÷		円	722	735	683	686	606		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	45,502	45,194	44,412	45,444	39,397			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)	
		白線整備(委託等)					66,201	m	31,039	
		その他 ()							0	

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	101.8	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	101.6
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	・計画通り事業を行なった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・道路の交差点入り口や屈曲部部分について、白線による視覚的狭さくや区画線の車道内側に破線の設置をおこなった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H17=1073件				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・白線の磨耗箇所を更新するよう要望がある。 ・区画線歩道側の幅員が狭い箇所において引き直しの要望がある。 ・車道内側に設置した破線に、車のタイヤが乗って騒音が発生するとの意見がある。				
	今後の予測	・実施計画どおり整備を行なう。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 車両及び歩行者の通行区分を明確にすることで、接触事故を防止し安全な通行を確保する効果は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 緊急に必要な白線要望を除いて、要望をとりまとめて指示・工事施工することで事業費の増加が抑えられる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用者に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・車線と路側帯の幅員構成の見直しは交通管理者(警察)と協議しながら進めていく。 ・白線による視覚狭さくや白線の破線の設置は引き続き行なっていく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		点字ブロック新設・改良				整理番号	618		枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	607	
係名 交通安全施設係					上位施策名				No		
予算事業名 交通安全施設整備					コード	62100		交通安全の推進			6
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				60 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第2項第8号						
	区が管理する道路を利用する視覚障害者等				(2) 東京都福祉のまちづくり条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 視覚障害者が道路を通行する際の補助となる誘導標示やブロックを道路上に設置する。				(3)						
活動目標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 新設・改良枚数				視覚障害者を安全かつスムーズに目的地まで誘導する。							
(2) 管理数値(点字ブロック設置枚数)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 整備対応率 = 点字ブロック管理延長 / 道路延長 * 100							
				(2)							
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	枚	527	766	800	709	600				
	活動指標(2)	枚	15,462	16,243	16,643	17,658	17,958				
	成果指標(1)	%	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,966	3,355	5,920	5,959	4,440	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年4月1日道路延長 684,621m (点字ブロック延長 = 管理数値 * 0.3) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。			
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円	2,966	3,355	5,920	5,959	4,440				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.16	0.18	0.30	0.31	0.17				
	人件費	千円	1,439	1,638	2,718	2,809	1,540				
	常勤職員分(超勤分含む)	千円									
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	4,405	4,993	8,638	8,768	5,980				
	単位あたりコスト(-) ÷	円	8,359	6,518	10,798	12,367	9,967				
	財源	千円									
受益者負担分	千円										
国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -	千円	4,405	4,993	8,638	8,768	5,980					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)				
	点字ブロック新設・改良(委託等)				709	枚	5,959				
	その他 ()						0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	88.6	活動指標(2)の17年度達成率%	106.1	17年度予算執行率%	100.7
・計画通り事業を行なった。アルミ穿孔型の点字ブロックをJIS規格型へ改めた。舗装工事を伴ったため、事業費が増加した。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
・歩車道が分離されていない一般道路で、車両が点字ブロックに乗る場合は、ブロックのがたつきをなくす為、シート貼り付け方式を行なった。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	視覚障害者数(身体障害者手帳交付数) S60.4 = 826人 H14.4 = 953人 H17.3 = 996人				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・視覚障害者やその団体から駅周辺と公共施設から公共交通機関までの経路上に点字ブロックの設置要望がある。また、歩行に不自由な方が、点字ブロックにつまづくという意見がある。				
	今後の予測	・視覚障害者の社会進出を安全に進める手段の一つとして、今後も整備を行なう。また、老朽化した点字ブロックの改修が必要になる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 誰もが安心して通行できる道路とするために、施設の設置は貢献度が高い。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 点字ブロックを設置するにあたり、視覚障害者やその団体からの意見を伺うことで更に成果向上ができる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。				
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・今後も車両などの通行に耐えられる、耐久性のある点字施設や施工方法について、情報収集を行い、新しい技術を取り入れるとともに、視覚障害者等の意見を具体化することで、より事業効果を高める努力をする。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		すべり止め舗装			整理番号	619		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			コード	222709		連絡先電話番号	4634		
係名		交通安全施設係			上位施策名			No			
予算事業名		交通安全施設整備			コード	62100		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 1 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	区が管理する道路の利用者				(2) 道路法第2条、第45条、第85条						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 道路のカーブ、交差点等の舗装面上にカラーすべり止め舗装を行う。				(3) 事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 道路のカーブ及び坂道のスリップ防止、また交差点等における色彩の変化による注意喚起により交通事故を抑止する。						
活動指標名(式) (1) 新設・改良面積 (2) 管理数値(施工累計面積)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 整備対応率 = 施工累計面積 / 道路面積 * 100 (2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		m ²	1,337	1,189	1,400	1,332	1,400			
	活動指標(2)		m ²	26,744	28,134	29,534	31,225	32,625			
	成果指標(1)		%	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,596	13,468	14,840	15,970	14,840	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年4月1日 区道路面積 3,362,454m ² 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	12,596	13,468	14,840	15,970	14,840			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.67	0.71	0.75	0.82	0.58			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,026	6,461	6,795	7,429			5,255
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	18,622	19,929	21,635	23,399	20,095			
	単位あたりコスト(-)÷		円	13,928	16,761	15,454	17,567	14,354			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	18,622	19,929	21,635	23,399	20,095				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		すべり止め舗装(委託等)					1,332	m ²	15,970		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	95.1	活動指標(2)の17年度達成率%	105.7	17年度予算執行率%	107.6
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	・計画通り事業を行なった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・交通量が多く、工事施工に時間が限られる箇所には、従来のすべり止め舗装施工後より、工事規制後の交通開放が早く行なえる材料を使用した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H17=1073件				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・事故の発生するおそれのある交差点や屈曲部分、道路路側帯巻き込み部分に着色を施し、色彩の変化による事故防止要望が増えている。				
	今後の予測	・既設の磨耗したすべり止め舗装部分の改修や危険な交差点付近などの明示方法として要望が増える。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 交差点などの路面に色彩による変化をつけ、道路利用者の注意を喚起することで交通事故防止に効果はある。また、他の交通安全施設整備事業と併せて実施することにより、効果が增加する。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 要望による一回のすべり止め舗装の施工範囲が小さいと、一回の施工コストが増加する。しかし、施工指示を数箇所毎、まとめて施工することで事業費の大幅な増加が抑えられる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・資源再利用や環境への配慮から、すべり止め舗装の骨材にガラスビン回収により発生したガラスカレット入り骨材を使用していく。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		防護柵の改良				整理番号	620		枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	609	
係名					交通安全施設係			上位施策名		No	
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進	6
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		6 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号				
	区が管理する道路の利用者				区が管理する道路の利用者		(2) 道路法第2条・第85号				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				老朽化した既存の歩車道分離防護柵(車道用ガードレールを歩道用として代用)を交通状況や周囲の景観に配慮した歩道用防護柵に更新改良する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
活動指標名(式)				(1) 各年度毎の改良延長 (2) 平成6年度以降の改良実績		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 改良率 = 改良延長 / 防護柵延長 * 100 (2)					
指標	区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
						計画	実績				
	活動指標(1)		m	654	603	700	568	700			
	活動指標(2)		m	12,523	13,126	13,826	13,694	14,394			
成果指標(1)		%	34	36	38	38	40				
成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,994	15,110	17,371	17,366	18,620	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年度4月1日 防護柵管理延長 36,293m 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	13,994	15,110	17,371	17,366	18,620			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.74	0.80	0.88	0.89	0.71			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,656	7,280	7,973	8,063			6,433
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	20,650	22,390	25,344	25,429	25,053			
	単位あたりコスト(-)÷		円	31,575	37,131	36,206	44,769	35,790			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	20,650	22,390	25,344	25,429	25,053				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み			内 容				規模	単位	事業費(千円)		
			防護柵の改良(委託等)				568	m	17,366		
			その他 ()						0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	81.1	活動指標(2)の17年度達成率%	99.0	17年度予算執行率%	100.0
		・ほぼ計画どおり事業を行なった。今回、材料の価格が上昇したので改良延長が延びなかった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・防護柵の構造を統一して、整備を行なった。また、占用工事などでは、古い防護柵を撤去してもらい、道路工事終了後設置を行なった。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H17=1073件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・車両の抜け道の歩行者安全、速度抑制、違法駐車防止の対策として要望がある。しかし、道路幅員が狭く設置不可能な路線が大半である。設置に対しては、宅地の出入りなど住民生活に与える影響が大きいため沿道地域全体の賛同が得られにくい。					
	今後の予測	・施設の老朽状況を考慮しながら、路線毎の改良整備を進める。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 歩行者や自転車など道路利用者が安心して通行できる道路環境を整備する上で効果は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 防護柵の老朽化路線で道路工事が予定されている場合、一括で設計発注することで事業費軽減が見込まれる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は出来ない。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 ・専門的な業務を行う工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している交通安全施設業界への協働形態を継続する。						
(7) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・今後も防護柵の種類と構造を整理統一して改良を行なっていく。また、道路工事などと調整して改良することにより事業費軽減や工事期間の短縮に努める。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		立看板等			整理番号	621		枝番号				
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	610	
係名					交通安全施設係			上位施策名		No		
予算事業名					交通安全施設整備		コード	62100		交通安全の推進		6
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	区が管理する道路の利用者				(2)							
	区が管理する道路の利用者				(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
道路上の危険な箇所等に、交通標識や路面標示の補完として、道路利用者に注意を喚起するための簡易な立看板を設置する。				道路利用者に対し、道路形状や沿道状況の予告及び、交通マナー遵守を喚起することにより、道路交通の安全を確保する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 立看板設置数				(1) 看板設置度 = 道路延長/看板管理数								
(2) 管理数値(設置累計枚数)				(2)								
区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	枚	149	159	200	184	200					
	活動指標(2)	枚	2,069	2,268	2,468	2,415	2,615					
	成果指標(1)	m/枚	331	301	277	283	262					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,474	1,689	2,186	2,130	2,266	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成18年4月1日道路延長684,621m 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円	1,474	1,689	2,186	2,130	2,266					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.08	0.09	0.11	0.11	0.09					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	720	819	997	997		815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0			
	総事業費 + +	千円	2,194	2,508	3,183	3,127	3,081					
	単位あたりコスト(-)÷	円	14,725	15,774	15,915	16,995	15,405					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,194	2,508	3,183	3,127	3,081					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)				
	立看板等(委託等)					184	枚	2,130				
	その他 ()							0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	92.0	活動指標(2)の17年度達成率%	97.9	17年度予算執行率%	97.4
・ほぼ計画どおり事業を行なった。通常の立看板が設置できない箇所には、薄いビニールシート型の視認性の良い標示の設置を行なった為経費がかかった。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
・交通違反常習箇所や自転車に対する一時停止や走行中の注意啓発のため設置を行なった。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	裏通りの交通事故発生件数 S56=413件 H3=658件 H13=1174件 H17=1073件				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	・規制標識や道路標示だけで周知しきれない情報を徹底させる上での取付要望が多い。その反面、景観が悪くなるという意見がある。				
	今後の予測	・老朽化した看板の交換と交通安全施設整備事業と併せて設置することで効果が上がるため今後も進める。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路利用者に直接注意を呼びかける手段として、他の交通安全手段と合わせて実施することによる効果は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 立看板の形状、設置場所や要望内容をよく精査して効率よく設置していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されるのが原則である。受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 構造が最小限の施設であり、また視認性を高めるため費用が増えている。これ以上の削減は出来ない。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 現行の形態が望ましいと考える。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・区が管理する生活道路上における交通事故、スクールゾーンへの車両の進入、交通違反常習箇所などに区民や警察などから取付要望が高くなっている。今後も看板は視認性のいい材料を使用し、設置場所に合った形状に工夫をしながら取付を行なっていく。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	・市場単価と見積単価との整合をはかり、単価改正を行いながら設計工事費の見直しを行なっている。予算の増減は見込まない。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯維持補修				整理番号	622		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	611	
係名					交通安全施設係					上位施策名		No
予算事業名					街路灯維持補修					交通安全の推進		6
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	すべての区道利用者						(2) 杉並区街路灯設置基準					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。		(3) 道路法第42条					
活動指標名(式)				(1) 街路灯管理数		(2) 街路灯修理件数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。				
成果指標名(式)				(1) 街路灯稼働率 = ((街路灯管理灯数 × 365日) - (街路灯修理件数)) / 街路灯管理数 × 365(日)		(2) 街路灯修理率 = 街路灯修理件数 / 街路灯管理灯数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
	活動指標(1)	灯	24,920	25,075	計画	実績	25,103	25,099	25,131	25,237	99.5	
	活動指標(2)	件	1,314	1,381	1,470	2,729	1,470	1,470	1,470	185.6		
	成果指標(1)	%	99.99	99.98	99.98	99.97						
	成果指標(2)	%	5.27	5.51	5.85	10.87						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	204,178	207,867	208,857	194,242	209,149	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	101,489	81,697	82,231	85,641	82,360				
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.77	3.81	3.77	3.77	2.35				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	33,907	34,671	34,156	34,156	21,291				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	238,085	242,538	243,013	228,398	230,440				
	単位あたりコスト(-)÷		円	9,554	9,673	9,681	9,100	9,170				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	238,085	242,538	243,013	228,398	230,440					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		街路灯維持管理(委託等)							108,601			
		街路灯補修(委託等)							85,641			
		その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	185.6	17年度予算執行率%	93.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	蛍光灯式の街路灯については、蛍光管交換に際して、従来と同等の消費電力で、これまで以上の光量を有するものへの移行を図り、照明効果の改善に努めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	塗装・ランプの交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化はない。街路灯管理数値；H5年24159灯、17年25099灯				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が多い。				
	今後の予測	区全域での街路灯の設置状況はおおむね満たされており、急撃に増加することはないと思われるので、現状で推移すると思われる。修理のコスト増と三波長蛍光ランプの不点率が高いので、安全・安心を含め検証が必要である。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容：修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みである。また、光熱費についても精査は実施済みである。 理由または具体的内容：				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修に際して、現行より消費効率の良い機器の導入を検討し、光量を維持し、消費電力料の削減に取り組みたい。また、紙台帳による処理を、電子化した地図データベースへ移行させ、よりきめ細かな日常管理と劣化予測等に活用し、効果的な維持補修を図りたい。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 消費効率の良い機器は、現行機器より高価であることから、費用対効果の検証を十分に行う必要がある。地図データベースについては、GISとの統合にかかる調整が必要である。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現行事業内容については、現状を的確・正確・迅速に把握し、現行予算規模での事業運営に尽力する。地図データベースについて費用増を計上する。この導入により、路線単位による補修データベースの活用が可能となり、かかる経費の効率的な運用が将来的には見込まれる。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯新設				整理番号	623		枝番号		
担当部課名		杉並土木事務所		コード	222709	連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	612	
係名					交通安全施設係			上位施策名		No	
予算事業名					街路灯新設・改修		コード	60850		交通安全の推進	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号				
	すべての区道利用者						(2) 杉並区街路灯設置基準				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				街路灯を新設する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				
						街路灯を新設し、安全性を向上する。					
活動指標名(式)				(1) 街路灯新設数		(2) 街路灯設置要望件数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			
								(1) 街路灯整備率 = 街路灯管理数 / (区道延長 × 有効率 / 30)			
								(2) 新設実績数前年度比率			
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		灯	28	24	28	22	28	28	78.6	
	活動指標(2)		件	26	19	40	16	40	40	40.0	
	成果指標(1)		%	97.75	97.77		98.41				
	成果指標(2)		%	87.50	85.71		91.66				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,513	5,168	5,583	4,188	5,702	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	4,503	5,140	5,432	4,161	5,551			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.08	0.08	0.08	0.08	0.05			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	720	728	725	725			453
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	5,233	5,896	6,308	4,913	6,155			
	単位あたりコスト(-)÷		円	186,893	245,667	225,286	223,318	219,821			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	5,233	5,896	6,308	4,913	6,155				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		街路灯新設(委託等)							4,161		
		設計事務費							27		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	78.6	活動指標(2)の17年度達成率%	40.0	17年度予算執行率%	75.0
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	現状契約のなかで、工事期間を含む完成までの効率的な施行を、業者の協力を得ながら行っている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	S60年4791灯 H8年16887灯 H12年24502灯 H17年25099灯により全路線に街路灯を設置済みとなったが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となる。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯面から道路照明の充実を求める声が多い。				
	今後の予測	区道の新設は僅かとなるが、水路等で街路灯の設置がない場所が残されているため、今後も現状計画数量を維持し、設置を行っていく必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: こまめに分散した発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 要望又は新設道路計画を受け、設置基準による公平的で効率的な実施計画を区が行い、専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 新設要望から新設完了までの時間の短縮。現在は業者との契約を2回ないし3回に別けている関係から、まとめて業者に依頼することとなる。契約期間をオーバーラップする等の検討を行い、改善していく。				
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 工種数が増えることから、監督員の業務内容が複雑になる。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	現状維持により、こまめに分散した発注依頼を行い、街路灯新設までの時間を短縮していく。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		街路灯改修				整理番号	624		枝番号			
担当部課名		杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	613	
係名		交通安全施設係				上位施策名			No			
予算事業名		街路灯新設・改修		コード	60850		交通安全の推進			6		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号							
	すべての区道利用者				(2) 杉並区街路灯設置基準							
					(3) 道路法第42条							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した街路灯を改修する。 ポール・アーム改修は、設置後30年経過したものを対象とし、器具改修は設置後15年経過したものを対象とし施工を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
						街路灯を改修し、安全性を向上する。						
活動指標名(式)		(1) 街路灯ポール・アーム改修数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
		(2) 街路灯器具改修数				(1) 街路灯ポール・アーム改修率 = 街路灯ポール・アーム改修数 / 街路灯ポール・アーム改修計画数						
						(2) 街路灯器具改修率 = 街路灯器具改修数 / 街路灯器具改修計画数						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		灯	285	454	350	488	350				
	活動指標(2)		灯	1,016	922	1,000	677	1,000				
	成果指標(1)		%	81.43	129.71		139.42					
	成果指標(2)		%	101.60	92.20		67.70					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	154,919	152,792	176,636	170,511	193,225	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	153,249	150,959	159,953	168,639	189,836				
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.29	2.94	2.94	2.94	1.84				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	20,596	26,754	26,636	26,636				16,670
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	175,515	179,546	203,272	197,147	209,895				
	単位あたりコスト(-)÷		円	615,842	395,476	580,777	403,990	599,700				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	175,515	179,546	203,272	197,147	209,895					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		街路灯器具光源改良(委託等)							95,612			
		ポールアーム改修(委託等)							74,899			
		その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	139.4	活動指標(2)の17年度達成率%	67.7	17年度予算執行率%	96.5
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		街路灯の倒壊、落下を防ぐ為、点検を重視し、安全確保を努めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	街路灯ポールアーム改修数; H5年160灯、H17年488灯。 街路灯器具改修; H5年284灯、H17年度677灯					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。					
	今後の予測	改修時期を迎える街路灯の増加が見込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 道路は無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量の増大時期を向かえ、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 灯柱を一本ずつ正確に劣化状況を把握する人的労力が必要となる。また、サンプル調査方法の確定や、合理的な巡回点検の方法について検討する必要がある。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力する。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私有灯補修			整理番号	625		枝番号			
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			コード	222709		連絡先電話番号	4634		
係名		交通安全施設係			上位施策名			昨年度整理番号	614		
予算事業名		私有灯助成(維持補修)			コード	61100		交通安全の推進	6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 46 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 地方自治法第2条第3項第8号						
	すべての道路利用者				(2) 地方自治法第232条の2						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。				(3) 杉並区私有灯の整備に関する条例及び施行規則						
活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
(1) 私道街路灯管理数				私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							
(2) 私道街路灯修理件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
				(1) 私道街路灯稼働率 = ((私道街路灯管理灯数 × 365日) - (私道街路灯修理件数)) / 私道街路灯管理数 × 365(日)							
				(2) 私道街路灯修理率 = 私道街路灯修理件数 / 私道街路灯管理灯数							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		灯	8,298	8,299	8,325	8,327	8,353	8,440	98.7	
	活動指標(2)		件	900	441	580	706	580	580	121.7	
	成果指標(1)		%	99.97	99.98	99.98	99.97	99.98			
	成果指標(2)		%	10.85	5.31	6.96	8.47	6.94			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,606	23,005	35,897	35,753	36,156	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	33,537	22,607	35,138	34,974	35,368			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.55	0.55	0.55	0.55	0.34			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	4,947	5,005	4,983	4,983			3,080
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	38,553	28,010	40,880	40,736	39,236			
	単位あたりコスト(-)÷		円	4,646	3,375	4,911	4,892	4,697			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	38,553	28,010	40,880	40,736	39,236				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		私有灯補修(委託等)							30,833		
		私道街路灯故障修理委託(委託等)							4,119		
		私道街路灯維持補修工事(委託等)							801		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	121.7	17年度予算執行率%	99.6
		活動指標(2)については、受動的な故障発見時の対応のため実績値による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		塗装、ボールの材質を見直したものを採用し、民有灯の耐性を高めている。また、蛍光灯式の街路灯については、その蛍光管交換に際して、従来と同等の消費電力で、これまで以上の光量を有するものへの移行を試行し、照明効果の改善に努めるようにした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	私道街路灯は概ね一定数量(約8400灯)となり、灯数の増加による故障等も増加をたどってきたが、現在は一定化状態(修理委託 約2000件/年)にある。管理数値平成5年度8313灯、平成17年度8327灯					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	街路灯は区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められている。					
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。修理のコスト増と三波長蛍光ランプの不良率が高いので、安全・安心を含め検証が必要である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 故障の発見と通報に、区民の理解と協力を得ることができるようにしてゆく。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の理解、関心が必要となる。街路灯の重要性や修理等のシステム等の情報を提供していく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 現行予算規模での事業運営に尽力する。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		電気料助成				整理番号	626		枝番号		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		コード	222709	連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	615	
係名					交通安全施設係			上位施策名		No	
予算事業名					民有灯助成(維持補修)		コード	61100		交通安全の推進	6
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号				
	私道街路灯所有町会等の団体・すべての道路利用者						(2) 地方自治法第232条の2				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				申請に基づき私道街路灯電気料の支払いなどを行う。		(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則				
活動指標名(式)				(1) 電気料助成灯数		(2)		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)			
成果指標名(式)				(1) 電気料助成率 = 電気料助成灯数 / 電気料助成申請灯数		(2)		私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。			
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		灯	8,578	8,606	8,730	8,638	8,664	8,725	99.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	100	100	100	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,874	23,521	27,703	22,958	28,322	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.44	0.44	0.44	0.44	0.28			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	3,957	4,004	3,986	3,986			2,537
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	25,831	27,525	31,689	26,944	30,859			
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,011	3,198	3,630	3,119	3,562			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	25,831	27,525	31,689	26,944	30,859				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		私道街路灯電気料							21,527		
		町会設置電気料							1,431		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	98.9	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	82.9
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	継続して電気料金の一括前払いサービスを活用し、経費の削減に努めている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	電気料助成灯数 平成10年 8,598灯 平成17年 8,638灯				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	助成申請時の手続きの簡素化を求める声がある。				
	今後の予測	宅地開発等による新設私道の増加にともない、私道街路灯の新設も若干の伸びがあり、電気料金の増加もありえる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安全安心について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 公衆用街路灯の電気料金は、公共料金による契約のため成果の向上はない。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 一括前払サービスの契約料金を活用する等の精査を実施済みであるため、コストの縮減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 電気料金の助成金交付であるため、区外でおこなうことは適当でない。				
	(3) 協働等の形態					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 電気料金の助成は町会・自治会へ行うため、多くの一般区民は、その1灯もしくは会の助成金額を知らないことが多いため、料金や他の事項の周知を図っていく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	宅地開発等による新設箇所の増加が見込まれるが、助成に当たっては必ず電気料金やその他の設定について十分説明してゆき、制度の理解を深め、協力を得てゆく。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯新設				整理番号	627		枝番号			
担当部課名		杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	616	
係名					交通安全施設係					上位施策名		No
予算事業名					民有灯助成(建設補助)					交通安全の推進		6
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	すべての道路利用者						(2) 地方自治法第232条の2					
							(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)						事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)						
申請に基づき私道街路灯を新設する。						私道街路灯を新設し、安全性を向上する。						
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 私道街路灯新設数値						(1) 私道街路灯整備率 = 私道街路灯新設数 / 私道街路灯新設計画数						
(2) 私道街路灯設置要望件数						(2) 新設実績数前年度比率						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		灯	36	24	26	28	26	21	133.3		
	活動指標(2)		件	38	28	40	49	40	40	122.5		
	成果指標(1)		%	138.46	92		107.69					
	成果指標(2)		%	120.00	70		116.66					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,390	2,249	2,713	2,352	2,636	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	2,390	2,249	2,713	2,352	2,636				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.04	0.04	0.04	0.06	0.03				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	360	364	362	544			272	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	2,750	2,613	3,075	2,896	2,908				
	単位あたりコスト(-)÷		円	76,389	108,875	118,269	103,429	111,846				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	2,750	2,613	3,075	2,896	2,908					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		街路灯新設(委託等)							2,352			
		その他 ()							0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	107.7	活動指標(2)の17年度達成率%	122.5	17年度予算執行率%	86.7
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	申請から工事完了まで、長期間待たせることのないように、可能な範囲で調整した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始時と比べると数量は小さくなっているが(H17年8307 H18年8256 H19年8327 廃灯有り)民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。				
	今後の予測	現状の状態での推移が見込まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安心安全について、夜間における効果は大きく、他に変えたい				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 修理などにかかる単価等の共通化を土木部門全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 区が助成申請を受け、その可否を決定した工事は、民間事業者が行う。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 申請により設置(新設)というシステムにより、現在無関心等から申請(設置)していない私道も多く、今後も漸次申請され続けるものと考えられるので、本事業を継続していく必要がある。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 私道は区の道路管理権がなく、「便利帳」等区の広報に対し限界がある。また、開発行為に伴う企業者の新設についても、その後の居住者の状況の変化から問題が出ることも多く、その調整が課題となっている。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由 道路が暗い等の要望に対し、私道については「助成」について説明し要望者並びに近隣住民の理解を得て、基準に照し合せ、新設していく。						

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		私道街路灯改修				整理番号	628		枝番号			
担当部課名		杉並土木事務所		コード	222709		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	617	
係名					交通安全施設係					上位施策名		No
予算事業名					民有灯助成(建設補助)					交通安全の推進		6
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		46年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 地方自治法第2条第3項第8号					
	すべての道路利用者						(2) 地方自治法第232条の2					
							(3) 杉並区民有灯の整備に関する条例及び施行規則					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)								
老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。 ポール改修は設置後30年経過したものを、器具改修は設置後15年経過したものをそれぞれ施行する。				私道街路灯を改修し、安全性を向上する。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 私道街路灯ポール改修数				(1) 私道街路灯ポール改修率 = 私道街路灯ポール改修数 / 私道街路灯ポール改修計画数								
(2) 私道街路灯器具改修数				(2) 私道街路灯器具改修率 = 私道街路灯器具改修数 / 私道街路灯器具改修計画数								
指標	区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
	活動指標(1)	本	18	41	40	50	40					
	活動指標(2)	件	371	204	400	306	400					
	成果指標(1)	%	45.00	102.50		125.00						
成果指標(2)	%	92.75	51.00		76.50							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	29,795	29,732	30,341	27,825	30,519	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度は組織統合により、事業に携わる職員数が減となる。			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	29,052	29,060	29,318	27,154	29,396				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.18	0.18	0.18	0.18	0.11				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,619	1,638	1,631	1,631	997				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	31,414	31,370	31,972	29,456	31,516				
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,745,222	765,122	799,300	589,120	787,900				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	31,414	31,370	31,972	29,456	31,516					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		私道街路灯器具改修(委託等)							22,426			
		私道街路灯ポール改修(委託等)							5,382			
		その他 (維持管理用品)							17			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	125.0	活動指標(2)の17年度達成率%	76.5	17年度予算執行率%	91.7
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		必要な改修を進め、安全を向上させる。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業開始時の設置灯数が多く、改修を要する街路灯の数は増加傾向にある。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が多い。					
	今後の予測	改修時期となる街路灯の増加が予想される					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 道路における安心安全について、夜間における効果は大きく、他に替えがたい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 街路灯は全て同一の型式に定め改修工事単価等を定めているため、成果の向上はない。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 行き止まり私道については、利用は特定の者に限られており受益者負担の検討余地がある。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用手法は見直す必要がある。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続するが、大幅な縮減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 専門的な電気工事技術者や工事資機材・車両を、常時確保している電気工事業界への協働形態を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改修時期は設置環境によって大きく変わってくる。改修数量が増大傾向にあるため、真に改修の必要なものを選別し、年度改修数の平準化を図っていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	年度間での改修数をなるべく平準化し、現行予算規模での事業運営に尽力する。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通学安全指導業務				整理番号	738		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局学校運営課		コード	600204	連絡先電話番号	1615		昨年度整理番号	723	
係名		教職員係			上位施策名				No		
予算事業名		学校人事・給与事務		コード	72000	交通安全の推進				6	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1)						
	区立小学校に通学する児童				(2)						
	区立小学校に通学する児童				(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区立小学校の児童の通学における安全指導・誘導を行う。行財政改革実施プランに基づき、学童擁護職員のいない小学校について、業務を委託する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 登下校時において、児童を安全に誘導することで、事故発生を未然に防ぐとともに、児童が安心して通学できるようにする。							
活動指標名(式) (1) 委託学校数 (2) 委託ポイント数(通学安全指導員の立つ地点数)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 登下校での交通事故発生件数 (2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		校	29	31	32	32	35	38	84.2	
	活動指標(2)		所	80	96	100	100	109	118	84.7	
	成果指標(1)		件	0	0	0	0	0	0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	88,731	95,485	109,796	103,000	120,677	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	88,731	95,485	109,796	103,000	120,677			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	899	910	906	906			906
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	89,630	96,395	110,702	103,906	121,583			
	単位あたりコスト(-)÷		円	3,090,690	3,109,516	3,459,438	3,247,063	3,473,800			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	89,630	96,395	110,702	103,906	121,583				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		通学安全指導業務委託					32	校	103,000		
		その他 ()							0		

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	93.8
	新規の委託は、学童擁護職員の退職との関係で発生するため、計画と実績に大幅な違いが生じることはほとんどない。 毎年1～3校程度の新規委託となっている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	学童擁護職員の退職に伴う業務について新規に委託しているため、予算は年々増額となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	信号機や横断歩道、ガードレール等の整備のほか、通学路の見直しなどの環境整備が進んでいる反面、交通量の増加等により危険度も高くなっている。 学校希望制度の導入により、指定通学区域以外から通学する児童が増えている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	児童の安全確保に最大限配慮してほしいという要望が大きい。 不審者による事故が社会問題化しており、交通安全以外の部分で、登下校時の児童の安全確保への関心が高まっている。				
	今後の予測	新規委託学校数の増加や、学校及び保護者からの要望を受けての指導地点の増加が予想され、事業規模はしばらく拡大していく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 通学安全指導員が配置されている箇所での大きな事故報告は受けておらず、児童の安全確保に寄与していると考えられる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 委託学校数及び委託ポイント数は今後しばらく増加が見込まれる。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 学童擁護職員の業務を委託している事業であり、受益者負担は考えていない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 新規委託校が発生する間は、事業費は増加していく。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	委託事業内容が、シルバー人材センターの業務として適していると考えられることから、地域の高齢者の就業支援に役立っていると思われる。				
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 行財政改革実施プランに基づき、学童擁護職員の定数削減に対する委託化を計画どおり継続実施していくことで、財政効果を生み出していく。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	学童擁護職員の退職が見込まれるため、委託校数が増となる。 既委託校からの通学安全指導地点の増についての要望への対応の結果、ポイント数が増えることがありうる。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区立小学校の通学路の指定・整備				整理番号	753		枝番号		
担当部課名		教育委員会事務局学務課		コード	600301	連絡先電話番号	1622		昨年度整理番号	742	
係名		学事係			上位施策名				No		
予算事業名		通学路の設置管理		コード	73600		交通安全の推進		6		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 38 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区立小学校児童				(1) 交通安全対策基本法第4条 (2) 交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法、同施行令 (3) 杉並区立小学校の通学路設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 歩車道の区別があるなど、児童が主として登下校するのに適した道路を通学路に指定する。東電広告(株)が管理する電柱に「文」標識を取付け、通学路である旨を自動車等の運転手に周知する。また、時間規制のある通学路上にスクールゾーン標示板(バリケード)を設置できるようにするため、区立小学校に配布する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) (1) 通学路標識の取替え組数 (2) スクールゾーン標示板(バリケード)の配布数						
	活動指標名(式) (1) 通学路標識の取替え組数 (2) スクールゾーン標示板(バリケード)の配布数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 登校時に交通事故に遭った児童数 (2) バリケードの活用率=配布数						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		組	967	871	789	792	864			
	活動指標(2)		基	59	9	9	9	9	9	100.0	
	成果指標(1)		人	12	9	0	16	0	0		
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,669	3,986	2,735	3,967	4,343	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円	2,846	2,562	2,320	2,300	2,540			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.33	0.34	0.30	0.34	0.30			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,968	3,094	2,718	3,080			2,718
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	6,637	7,080	5,453	7,047	7,061			
	単位あたりコスト(-)÷		円	6,863	8,129	6,911	8,898	8,172			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	6,637	7,080	5,453	7,047	7,061				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		学校安全マップの作成・配布				25,000	部	1,250			
		全小学校における子ども安全ボランティアの立ち上げ				4,695	名	0			
		通学路標識の設置・交換				792	組	2,300			
		通学路線図作成等				225	部	417			
その他		()						0			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	100.4	活動指標(2)の17年度達成率%	100.0	17年度予算執行率%	145.0
17年度は、通学路標識の交換数が少ない年にあたり、基本的には予算執行も減少する予定であったが、子どもの連れ去り事件等もあった関係で、学校安全マップの増刷など、防犯関連の予算を流用により捻出するなどしたため、結果的に増額となった。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
学校安全マップについては、教育委員会での重点施策としてレベルアップを図るべく、各小学校学区の基図を作成するための委託調査費が予算計上され、全体として増額となっている。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和40年代頃社会問題化したモータリゼーションによる自動車数の増大により、通学路における児童の安全確保のため、通学路の設定・整備や交通規制といった対策が取られて来た。ここ数年は従来の交通安全主導から、防犯へのウエイトが高まり、通学路の見直しをはじめとする防犯上の安全確保へと視点が変化してきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	通学路の交通安全に対する要望は相変わらず高いものの、一方で防犯上の不安に対する要望苦情も急激に増加してきている。従前の警察や土木事務所との連携はもとより、危機管理室との連携等、さらに幅広いセクションとの連携による対応が求められてきている。				
	今後の予測	児童生徒をめぐる様々な事件が多発する中で、通学時における危機対策の再構築が求められる。今後「学校希望制度」の定着と「適正配置」の進展とともに児童の通学ルートにも変化が生じ、学校・保護者から通学路の新設・変更についての要望がさらに多くなることと思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 通学路の指定・整備を行うことで、学校が行う児童に対する登下校時の安全指導と「文」標識やバリケード設置による運転者への注意喚起で交通安全を確保できる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 通学路標識によるドライバーへの注意喚起やバリケードによる通学時間帯の時間規制道路への車両侵入防止等、ある程度の効果は上がっているものとする。				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 通学時の安全・防犯教育の徹底				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担の設定不可。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 通学路における「文」標識の取替えサイクルを見直した(5年・8年)が、標識の耐用年数からすると限界である。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 昨年度末に立ち上がった子ども安全ボランティアは真のボランティア活動による通学時の児童見守り組織である。今後もより充実した活動を長く継続させるために、行政側もサポート体制を整える必要がある。				
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 通学路の安全確保については、従来の交通事故の防止に加え、防犯や防災といった視点に立った事業の再構築が望まれることから、通学路の実態把握を行い、通学路沿道の整備や昨年度末に立ち上げた「子ども安全ボランティア」の育成を図るなど、従来のハード中心の施策にソフトの施策を加え、児童連れ去り等の課題に対応して行く。					
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在の通学路の交通安全に関わる部門(教育委員会、道路管理者、警察署等)だけでは対応できないため、危機管理・まちづくり・地域振興などに関わる部門との調整及び連携の強化を図る必要がある。					
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
(2) 理由 通学路標識の設置やバリケードの作成配布といったハード面での整備は、学校・地域等の要請に応じて、引き続き行っていく。 また、学校安全マップの充実や17年度に全小学校で立ち上げた子ども安全ボランティア組織の拡充等、ソフト面での啓発的な事業展開を図りながら子ども連れ去り事件等の時世の課題への対応を図る。						